

第22号

シルバー北広島

令和8年(2026年)

1月13日発行

写真: 加計山 雲海 (加計山から望む大朝の雲海)
天津 功司

監事	監事	監事	理事	理事	理事	理事	理事	理事	理事	理事	理事	常務理事	副理事長	理事長
新枝	大谷	加藤	中村	上田	平田	栗山	齋藤	杉井	兼藤	吉城	細居	川手	森分	中原
和範	清春	一三	幸雄	耕史	早苗	隆幸	敏広	喜義	敏	寺良	治	正直	あき子	健

本年もよろしく
お願い致します



新年のご挨拶

理事長 中原 健



新年あけましておめでとうございます。皆さまにおかれましては、

健やかに新年をお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。平素より、皆さまには公益社団法人北広島町シルバー人材センターの事業運営に対しまして、格別なるご理解ご支援を賜り、厚く感謝申し上げます。

さて、昨年は、前年から続く米不足から米の高騰が年明けから続き、政府も5年前の備蓄米を放出するなど対策を取り、スーパーなどの売り場に米を並べましたが、コメ価格の一时的な下落対応にしかならず、新米の銘柄米などが开始出现しても価格上昇に歯止めがかかってない状態が続いています。このことは、生産者の所得補償や生産意欲、消費者の購買意欲にも繋がる農政の目玉となっています。

そんな中、会員さんは元氣よく与えられた仕事を堅実にこなし、発注者の方々に喜んでいただきました。本年は、令和八年四月一日（フリーラン

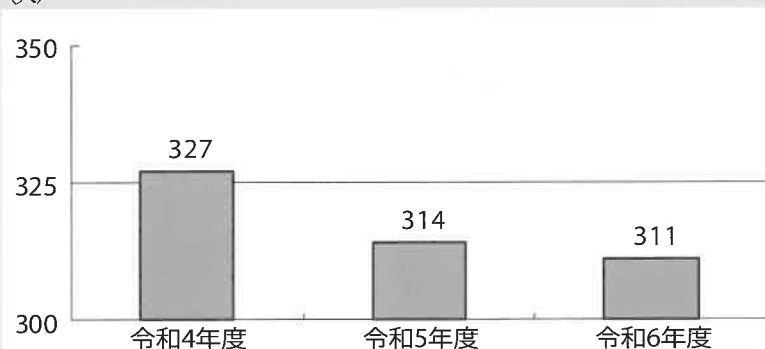
ス新法が令和五年五月十二日に公布されたことによる。）から請負等において契約方法が時間単価の契約でなく、事業総額での契約を行うこととなります。会員の皆さまには実務面では基本的な変わるところはありませんので、今まで通り就業して頂き、何かお困りのこと等があれば遠慮なく職員にご相談ください。

さて、シルバー人材センターでは、高齢者の希望に応じた臨時的・短期的な就業を提供し、高齢者の福祉の増進に資する活動を推進し、活力ある地域社会づくりに取り組んでいます。広島県の定めた最低賃金千八百五十円（令和七年十一月一日現在）を基準として職の紹介を行っています。無理をせず、元気で快適な生活を送るために、シルバー人材センターの事業を活用してみませんか。

職員も頑張っていますが、皆さんのお力が必要です。今後ともシルバー人材センターをよろしくお願い申し上げます。新年のごあいさつとさせていただきます。

令和六年度事業実績

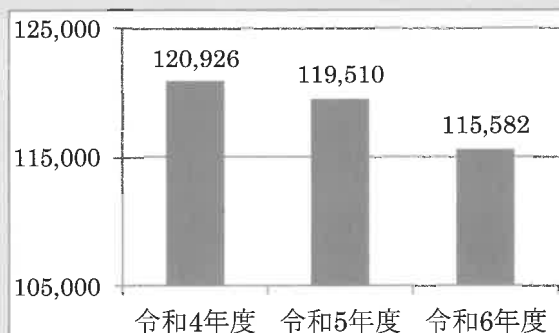
(人)



1. 会員数 三百十一名
前年度より三名減

【令和四年度～令和六年度会員数】

(単位：千円)



2. 受託事業の令和六年度契約金額は一億千五百五十八万二千円。(前年度より三百九十二万八千円の減)

【令和四年度～令和六年度契約額】

3. 労働者派遣事業の令和六年度契約金額は三千四百五十三万三千円。(前年度より七十九万五千円の減)

新年のご挨拶

北広島町長 箕野 博 司



新年明けましておめでとうございます。
どうぞいます。

北広島町シ

ルバー人材センター会員の皆さま並びに関係者の皆さまにおかれましては、輝かしい新春をお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。

また、平素より、本町の行政運営につきまして、格別なご支援とご協力を賜り、深く感謝申し上げますとともに、シルバー人材センターにおかれましては、日頃より、高齢者の就業機会の創出・拡大に積極的に取り組んでいただいておりますことに、深く敬意を表します。

少子高齢化が急速に進む今日において、高齢者が生涯現役として多様な形で社会参加することが求められています。このような中、活力ある高齢者社会を支える地域の中核的な組織として、シルバー人材センターの担う役割は一層重

要なものとなっています。

シルバー人材センターの設立理念である「自主・自立・共働・共助」のもと、長年にわたり培われてきた知識、経験、技能を活かし、皆様方が活躍されることが、健康で生きがいのある生活の実現に繋がります。牽いては地域福祉の向上や活力ある地域社会の実現へと繋がっていくと期待しております。

町としましても、シルバー人材センターと今後も連携を図りながら、心身ともに健やかで安心して暮らせるまちづくりに取り組んでまいりたいと考えております。

結びに、北広島町シルバー人材センターの今後益々のご発展と、会員の皆様のご健勝、ご多幸をお祈りいたしますとともに、皆様方にとりましてこの一年が健やかで実り多い年になりますことを心から祈念いたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。

令和六年度 決算額

公益社団法人 北広島町シルバー人材センター (単位：円)

経 常 収 益		経 常 費 用	
受 託 事 業 収 益	114,008,579	事 業 費	141,462,446
労働者派遣事業等受託収益	3,512,862		
介護予防・日常生活支援総合事業収益	2,266,000		
会 費	915,000		
補 助 金 等	20,000,000	管 理 費	1,448,197
特 定 資 産 運 用 益	1,674		
雑 収 益	231,293		
経 常 収 益 計	140,935,408	経常費用計	142,910,643
当期経常増減額		△1,975,235	

新年のごあいさつ

北広島町議会議長 湊 俊文



新年あけましておめでとうございます。

北広島町シ

ルバー人材センター会員の皆さまには、健やかに新年をお迎えのこととお喜び申し上げます。

これまで皆さまは、長年培われてきた経験や技術を生かし幅広い分野で活動され実績を上げてこられました。

また、地域で働くことを通してご自身の生きがい・健康増進なども図られているのではないのでしょうか。

労働人口が減少し人手不足が言われて久しい昨今ですが、当町では、シルバー世代の皆さまのお力が、様々な面で活かされていると感じます。

今後も若い世代を支え、培ってきた知恵と技術を次の世代に伝えていただきたいと思います。

さて、北広島町議会は令和七年三月の改選で四人の新人議員が誕生し、新たなスタートを切りました。町民の皆さまの声を受け止め議場に届ける信頼される議員、そして信頼される議会でありたいと思います。

先頃、憲政史上初めて女性が内閣総理大臣に任命され、広島県でも初の女性県知事が誕生しました。時代は刻々と変わっていきます。官も民も共に知恵を出し合いながら、より良い未来を作り出す時代です。

私も、微力ながら今後も県に訴え、北広島町の発展のために尽力する所存です。

結びに、北広島町シルバー人材センターの益々のご発展と、会員の皆さまのご多幸ご健勝を祈念し、新年のごあいさつとさせていただきます。

「シルバーの日」の作業に感謝

北広島町役場芸北支所

支所長 村竹 明治



毎年恒例のシルバーの日、

昨年は十月十八日の土曜日でした。当日はまずまずの天気で、八人の会員さんが集合されました。支所前庭の草刈り、植木の剪定、さらに石垣の草取りまでしていただきました。

石垣は硬い草が生え、見た目も悪くなかなか作業ができませんところですが、手作業で丁寧に作業していただきました。

また、植木のツツジは、昭和五十五年に現在の庁舎が建てられた記念に植栽されたもので、大切に管理するよう先輩方から伝えられてきました。これもまたみちがえるようにきれいな姿となりました。

シルバー人材センターの皆様には庁舎の清掃、公共施設の管理など多岐にわたる業務でお世話になっております。知識と経験、さらに技術を活かし地域で活躍される姿に感銘を受けております。これからもお元

気でご活躍されることを祈り感謝の言葉と致します。



北広島町役場芸北支所（ボランティア活動の風景）



千代田地域
三田 ひな江

私は北広島町まちづくりセンターで夕方五時から三人交代でサークルの受付・管理の仕事をして頂いています。

モダンな建物、温かい職員の方、本当にありがたい環境の中で働かせていただき感謝です。図書に勉強に来る学生さんや、芝生の広場で元気に遊ばれる親子連れの方や、サークルでダンスを習っている子どもさん等、皆さんから元気をもらって楽しく働いています。図書館には新刊の紹介が掲示され、楽しみにしてい



芸北地域
深井 京二

ます。家の中にいたのでは気づかない喜びもあります。今日まで続けてこられたのは、共に働いている仲間の方やセンターの職員さんの温かい助けがあればこそだと感謝しています。これからも元気で健康に気を付け頑張っていこうと思っています。

五十年間、故郷を離れて都会で生活して、故郷の芸北に七年前にUターンで帰ってまいりました。その年の四月にシルバー人材センターに入会しました。春から秋までの間

草刈り作業をしております。仲間の人にも色々と支えられながら、毎日楽しく頑張っております。

これから先もケガをしないで健康でいられる間は頑張つて行きたいと思っています。会員の皆様、これからもよろしくお願い致します。



大朝地域
沖田 勝俊

新年明けましておめでとうございます。

私は、早いもので今年で六回目の年男を迎えることになり感謝しています。

四年前、長く勤めた農協を退職し、大朝シルバー人材センターの事務局の方に勧められて入会致しました。

入会当初から北広島町役場大朝支所庁舎並びに地域づくりセンターの夜間・休日受付管理業務を、四名の交替で、従事させて頂いております。当初は慣れない事も有り大変な事と思いましたが、役場職員

の皆様のお陰で、無事、努めさせて頂いております。

年男の今年は、自分を見つめ直し、健康第一に努め、新しい事を始める機会にしたいと思っております。

どうぞよろしくお願いいたします。



豊平地域
藤井 光馬

新年あけましておめでとうございます。

シルバー人材センター入会させて頂き、気が付けば早や十年になりました。戦国の歴史館の管理人に採用して頂き、来館して頂いた多数の方と接していろんな情報を教えて頂いたり、毎回来しく勤めさせて頂いております。

今年は年男という事で改めてあと何年元気で働けるかと思ひながらも、少しでも長くすばらしい学芸員さんのものと一緒に勤める仲間と共に日々楽しく充実した日を送りたいと思います。

会員の皆様にお知らせ

契約方法を見直します!!

令和6年11月のフリーランス法の施行に伴い厚生労働省から示された「シルバー人材センターにおける契約方法の見直しに関する基本方針」に基づき、会員の皆さんが請負・委任の形態で就業する場合の契約方法について、当センターは、令和8年4月から図2の通り見直しを行います。



この見直しにより、形式的には発注者と会員さんとの間で契約関係が生じることになりますが、実務面では現在と基本的に変わるところはありません。

会員の皆さまにおかれましては、契約方法見直しへのご理解をお願いします。

図1

【現行】

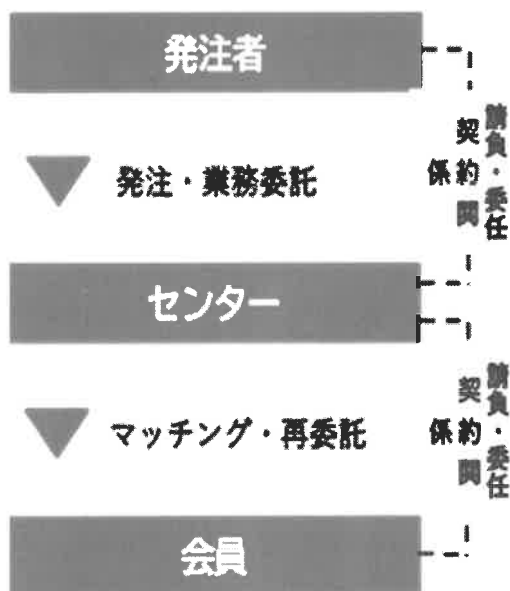
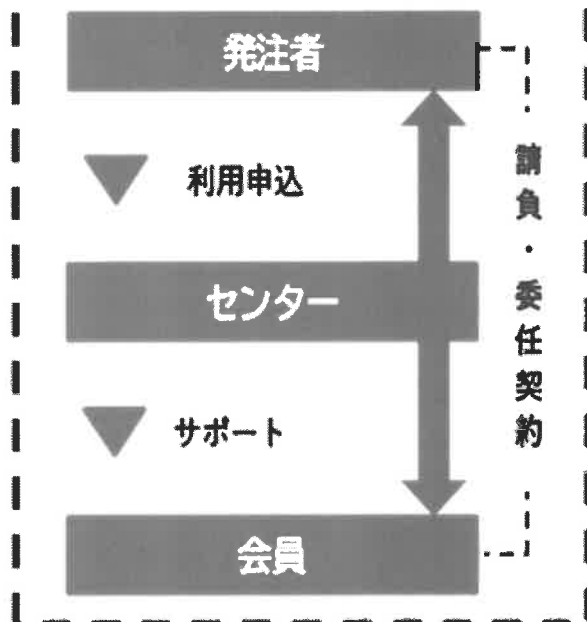


図2

【変更後】





契約の見直しによる現行との変更点

① 会員とセンターの関係

形式的には発注者と会員との間で契約関係が生じることになりますが、実務面では現在と基本的に変わることはありません。センターは、発注者と会員の間にあって様々な調整を行います。

② 業務仕様書への同意

今後は原則として、就業を予定する会員に対して、業務の内容や報酬の額などをお知らせします。その上で、業務を受けるかどうか判断いただき、同意いただくことになります。

③ 報酬の扱いについて

配分金については、これまでと同様「雑所得」として扱われます。必要経費として65万円まで認められることについても現行と変わりありません。

④ デジタル化による対応について

発注者が民間の会社の場合は、就業前に業務内容や報酬の額などを記載した「会員業務仕様書」を書面または電磁的方法により明示することが必要となります。

そのため、センターでは、業務の就業条件等をスマートフォン等で確認できる仕組みを進めています。詳細については、後日お知らせをする予定です。

就任あいさつ



新年あけましておめでとうございます。この間、皆様には

す。昨年の総会におきまして選任をいただき、七ヶ月が過ぎました。この間、皆様にはいろいろとご指導・ご協力いただき、誠にありがとうございます。

常務理事兼事務局長

川手 正直

います。会員の皆様が安心して安全に働けるように力添えをし、地域の活性化につながるよう頑張りますので、皆さまのご指導・ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。



退任あいさつ



令和七年五月三十一日をもってシル

バー人材センターの常務理事並びに事務局を退任いたしました。平成三十年六月から令和七年五月までの七年間、会員皆さまをはじめ

前常務理事兼事務局長

三宅 正登

多くの方々に支えていただき何とか務めることができました。これからは会員としてシルバー人材センターへ恩返しをしてまいりたいと思います。



仕事募集

○センターでは様々な仕事(家庭、企業、公共、各種団体等)をお引き受けしています。お困りのこと等気軽にご相談下さい。

センター本所 0826-72-8421
芸北支所 0826-35-1106
大朝支所 0826-82-7002
豊平支所 0826-83-1655
ホームページ kitahiro-silver.jp

会員の募集

(誰でも会員になれます)

○当センターでは、町内在住で原則 60 歳以上の健康で働く意欲のある方を募集しています。

入会説明会

期日 毎月第4月曜日 午後1時30分
※変更する場合があります

場所 センター本所

配分金支払

証明書について

令和七年一月から令和七年十二月までの間にセンターから会員の方に支払った配分金の「配分金支払証明書」又、派遣会員の「源泉徴収票」を一月に送付しますので、確定申告に持参して下さい。



会員研修 伯方の塩

事務局だより

就業報告書提出について

就業報告書は、発注者への請求額や配分金を計算する大事な書類です。作業が終了したら自分で記入し、発注者の確認印をもらって早急に提出してください。

月末まで就業する場合は、翌月二日までには必ず提出してください。就業報告書の提出が遅れると、発注者への請求、会員への配分金の支払いができませんので注意してください。



有志による門松設置

編集 後記

皆様には、健康やかに新年をお迎えのことと思います。昨年、異常

気象による様々な被害を耳にした一年でした。猛暑・酷暑とニユースで流れるたび、ため息ばかり…。そんな異常な暑さから、一気に冬を迎え、日本は「四季」から「二季」へ進行中とのこと。

また、痛ましい熊による被害が増え、中山間地の私達の暮らしも不安がつるばかりです。

そんな中、日本人の活躍した「ドジャース」の元気は、日本中に明るい力を与えてくれました。

丙午(ひのえうま)の今年、「勢いとエネルギー」に満ちて活動的になる一年のごとく、自分の力を地域の活性化に生かしていこうではありませんか。

◆総務広報委員会

委員長 栗山 隆幸
副委員長 平田 早苗
委員 細居 治
委員 森分あき子
委員 上田 耕史